

南田中図書館 図書館利用者懇談会

- 1 日時 令和7年10月29日(水) 13時30分～15時
- 2 場所 南田中図書館 2階会議室
- 3 参加者 利用者3名
図書館2名(南田中図書館長、館長代理)
- 4 テーマ 「南田中図書館に期待するサービス」
- 5 配布資料 (1) 南田中図書館利用者懇談会～南田中図書館に期待するサービス～
(2) 練馬区教育要覧
(3) 令和7年度 南田中図書館事業一覧
(4) 図書館だより(10月)
(5) 家読(うちどく)ノート
(6) bookclub(10月)
(7) 利用者懇談会アンケート
- 6 次第
 - 1 南田中図書館長挨拶
 - 2 職員紹介
 - 3 参加者自己紹介
 - 4 事業紹介
 - 5 懇談・意見交換
 - 6 閉会の挨拶

南田中図書館利用者懇談会 会議録

1 館長挨拶

本日はお忙しい中、南田中図書館の利用者懇談会にお越しくださいまして、誠にありがとうございます。南田中図書館長の高橋と申します。よろしくお願いいたします。毎年、利用者懇談会を練馬区立図書館全館で、10月の読書週間に合わせて、各館の館長が主催する懇談会となっております。地域の方のご意見やご要望を伺って、図書館で協議しまして、ホームページなどで改めて皆様にお伝えするものとなっております。他の館の議事録も掲載されていますので、もしよろしければご覧ください。昨年に引き続き、南田中図書館では、南田中図書館に期待する図書館サービスというテーマで、懇談会を行っていきたいと思っております。日頃から、図書館運営に、ご協力ご理解いただき、お礼を申し上げるとともに、今後の果てに向けて、ご意見やご要望、アイデアなどをお伺いできたら幸いです。

南田中図書館独自でお答えできない区立図書館全体に関する、ご意見に関しましては、統括しております光が丘図書館と調整して、改めてホームページで回答させていただく場合がございますので、ご了承ください。

今年度は光が丘図書館の懇談会は 11 月 20 日木曜日、午後の 3 時から 5 時に行っております。定員もございますので、ご興味ある方はまず、お問い合わせいただければと思います。初めに配布資料の確認をさせていただきたいと思います。

2 配布資料確認

3 職員紹介

4 参加者自己紹介

5 事業紹介

資料 1～2 を参照しながら、令和 7 年度南田中図書館で実施した事業の一部を図書館構想のコンセプトに沿って紹介。

コンセプト 1：「世界の知と出会い 学びを豊かにする」

- ・映像を通して SDG s を考える ・南田中ワイワイ自然塾
- ・0 歳からのファミリーコンサート
- ・トイレットトレーニング
- ・身体を使ってイキイキ脳活！ 誰でもできる「シナプソロジー®」
- ・児童施設/高齢者施設向け出張おはなし会

コンセプト 2：「練馬の文化を継承・発信する」

- ・「井のいち」、「ちゃが馬七夕」への参加・歴史講座「ねりまの道とその歴史」

コンセプト 3：「知が交わり、想像を生み出す」

- ・子育て交流会 ・南書会 ・家読

コンセプト 4：「情報へのアクセスを支援する」

- ・1 日ラジオ放送局・歴史講座「ねりまの道とその歴史」・ねりほんフラッシュ Youtube

その他

- ・図書館を使った調べる学習コンクール ・科学あそび教室 ・プラネタリウム
- ・ユースサポーター ・大人のおはなし会
- ・短歌講座「100 分で短歌」

6 懇談・意見交換

図書館 それでは懇談に入りたいと思います。報告の中で気になった事業や質問などがございましたらご意見をいただければと思います。それ以外にも図書館全体の運営の中で、ご意見やご要望などがあれば、お聞かせください。

利用者 これだけたくさんのコンテンツに沿ってご活動されていることにまず驚きました。

利用者 私たちも日々、未来ある子どもたちを育てている中で、想像力をすごく大事にしています。おはなし会の方に毎月来ていただいて、毎月違うおはなしをやっていただいて、いつも驚いています。でも、図書館は子どもたちが集う場所というか、ただ本を借りて、読む場所ではないし、体を使って外遊びすることも大事ですが、図書館はきっとこれからの時代で、重要な居場所になってくる。ちょっと本を読みたいなというときに、カフェなどのお店だと 600 円、700 円とお金がかかってしまう。大人でもそう思うのですから、ましてや子どもたちや地域のお年を召した方は、な

おさらそう思うのではないのでしょうか。

先ほどのコンセプトの話しでもあった「知が交わり創造を生み出す」というところは、やはり人がつながる、人がつながっていくことにおいて図書館は重要視されていくというか、図書館が居場所になってくるのかなど、私自身も本を読むのが大好きですし、ちょっと家とは違う場所で読みたいとか、石神井公園で読みたいと思った時もあるし、やはり本買うのも高かったりもするので、本当にこういう活動しているというのは、大事なことだなと思いましたし、より必要とされる時代になっていくのかなというのを感じました。

利用者 なにかで知ったのですが、自分が好きな本を交換する会みたいなイベントやっている図書館があるらしいのですが、本を売ったり買ったりするのではなくて、その人の手から他の人の手に渡すみたいな感じで、思い入れがある本なので、ちょっと説明しながら渡すような、そういう交換会とかあったら面白いなっていうのはずっと思っています。

図書館 ありがとうございます。以前勤めていた館で「一箱古本市」というイベントをやったことがあります。参加者は一箱に収まる範囲で読み終わった本を持ってきてよくて、箱の装飾も自由にしてもらって、看板なんかも作って、図書館の軒先でバザーのようにして本を出します。利用者は自分の交換したい本を持ってきて、箱の本と交換するというものです。先ほどおっしゃっていたとおり、思い入れのある本や読み終わった本なのでおすすめのポイントなどを話して交流をしながら本の交換をしていました。本を介して人と人とのつながりが生まれるイベントでした。南田中でも改めて検討したいと思います。ありがとうございます。

利用者 この「家読（うちどく）」の取り組みは素晴らしいなと思いました。頭の中で思っていることがちゃんと可視化されて、それをまず家族で共有できるというのは、素敵だなと感じます。

図書館 ありがとうございます。これは実は全国的にもあちこちで取り組みをしているのですが、まだまだ知らない人の方が多いのではないかと感じています。南田中に着任した際に、練馬区ではまだどこの図書館も取り組んでいなかったのので、早速南田中図書館で取り入れてみました。

コロナが流行る前から「家読」はあったのですが、コロナが流行って外出ができない時に家の中のできるコミュニケーションツールとして、浸透していきました。

ちなみに前年度の懇談会で、家族だけではなくて、利用者さん同士で、「家読」のように本を通してやり取りができれば面白いのではないかという話をいただいて、早速今年度の夏ごろに入口の展示コーナーで本を読んだ感想を募集して共有し合うという取り組みをやってみました。スタッフも一緒に参加して盛況でした。

図書館 今年度も、ぴよぴよさんと子育て交流会をやらせていただいて大変お世話になりました。最初は、なかなか人が集まらなかったのですが、いろいろと試行錯誤しながらやっていて、今回は赤ちゃんおはなし会と一緒にやってみたり、ねりパパさんと一緒におはなし会を行って、集まった人たちで子育ての悩みや相談をして、情報共有できる場を提供できたのではないかと思います。試行錯誤しながらやった結果、人も集まるようになって、いい形が見えてきたように感じます。

利用者 これだけのイベントをやっているけどまだ上半期なんですよ。私たちも企画するので、年間にイベントをどれだけ入れて、どれだけ質を上げて、どれだけ人数を集客するかというのは、考えてやらなきゃいけないのですごく大変さがわかります。

一番反響があるイベントはなんのイベントですか。あと、ずっと継続しているイベントはいくつか知りたいのですが、これだけ企画を出すっていうのはどういう流れで毎年やっているのか、スタッフにどういうふうに分担しているのか、どんな感じで外部と交流しているのか、続けてイベントを担当させるのか、それとも結構分散させているのかとか、得意分野で分担しているのかとか、ちょっと話せる範囲で聞けたらすごく参考になるので知りたいです。

図書館 一番人が集まるのは、南田中小学校の体育館をお借りして実施するイベントです。キャパシティが大きいのでたくさん集まります。今年は10月に「0さいからのファミリーコンサート」を行って250人来ました。毎年、体育館をお借りして、コンサートや一人芝居や落語など、その年によっていろいろと演目を変えて実施しています。体育館ではないですが、あとは歴史講座もすごく人気です。地域の歴史にご興味のある方が多くて、今回はウェビナーで実施して50人以上も参加がありました。その前の年もテーマは違いますが、歴史講座をやって申し込みが80人ぐらい来ました。会議室は30人ぐらいしか入らないので、50人ぐらいは参加できませんでした。というわけで今回ウェビナーを使った講演会を検討したということもあるのですが、歴史講座は人気が高いですね。なので、人気があるものは毎年継続しています。ワンダーおはなし会も人気ですし、製本講座や映画会も毎年継続しています。

図書館 ワンダーおはなし会も科学離れがちょっと進んだっていうところがあって、科学を通したおはなし会を実施したいということで続いているのですが、簡単な実験したり、工作したりしながら、それと一緒におはなし会をするイベントで、企画や準備に時間がかかるのですが、多い時は申し込みが20~30人ぐらい来る時もありました。

図書館 南書会（なんしょかい）という読書会は、参加人数は多くないですが図書館らしい行事の一つとして長く続いています。同じ本を読んで行う一般的な読書会というよりは、テーマに基づいて、各々が好きな本について対話をするという会です。大人から子どもまで参加していて小学生や中学生も大人と一緒に本について対話をしています。大人の方も子どもがわかりやすいようにお話しして下さるし、子どもは本当に物おじせず自由に発言しています。あとは大人たちが子どもたちに最近の流行りを教わったりしながら、本当に和やかな雰囲気です。

図書館 歴史講座も長いですね。開館当初からやっていて、もうかれこれ20回くらいやっています。今までは30人の定員で先着順で申し込んでいたのですが、今年の1月から抽選制になったら70~80人の申し込みがあって、潜在的な需要が高いことが改めてわかりました。

利用者 参加者は年齢が高い人が多いですか。

図書館 歴史講座は年齢が高い人が多い印象です。なかには若い方もいますが、高齢の方が多いです。

利用者 うちの、引っ越してきた時に庚申塔っていうのが練馬にはすごくあるというのを学校の図書室で知って、家族で地理が好きなので、全部回りました。歴史って聞いたときに、前はあった場所が住宅地開発になっちゃって、庚申塔がなくなっていて、やっぱり練馬も少しずつそういうふうになくなってきているのかなと思っています。庚申塔があるところはいつもお花とかお茶とかお水が供えられて、その地域のものとしてつながっているのだなと思います。今も見かけますけど、庚申塔などを見て歩くっていうイベントも面白いのかなと思います。

図書館 ありがとうございます。以前は夏休みに合わせて史跡見学会をやったこともあって、石神

井公園のところには石神井城址というのがあるのですが、あそこの中に入らしてもらったりだとか、あとは近所の歴史的建造物や観蔵院さんに寄ってみたりとか、石神井川にかかる橋の由来だとか、そういう話をしながら巡るイベントをやっていました。

利用者 区外から越してきた人には案外、地域のことを知らない人も多いですもんね。だから、馬頭観音とかがあっても気がつかないで通り過ぎている方も多いと思います。引っ越してきたときにたまたまそういう本が学校にあったので、じゃあ自分の住んでいるところにある庚申塔を見つけようということで、家族で自転車を使ってあっちこっち走りまわりました。おかげで練馬の地理に詳しくなりました。

図書館 イベントの担当の話に戻りますが、当館ではいろいろな担当があって、例えば一般担当とか児童担当とか環境担当とか地域担当などいろいろと分かれていて、担当ごとに分担してイベントをやっていきます。担当内でイベントを継続するのもしないのか、次回はどんな工夫をして実施しようとか、チラシや企画書を作成するので、だいたい3ヶ月以上前から準備し始めています。ちょうど今ぐらいの時期になると、来年度のイベントは徐々に考えていきます。館長から企画することもあれば、スタッフの方からこんなイベントやりたいですと企画してくれることもあります。

利用者 区の方からこの企画はやってくださいとか、ZOOMは月一回取り入れてとか、そういう依頼はありますか。

図書館 区からご案内はあります。館の都合などもあるので、実施できるときとできないときがありますが、なるべく実施するようにしています。6月には地域医療課と在宅療養講演会を実施しました。いろいろな課と図書館は連携しているので、本の展示も、案内がきます。平和関連展示や、人権週間に併せた展示、あとは自殺予防月間や禁煙週間など、たくさんあります。

利用者 うちの保健所とのコラボが結構あります。

図書館 図書館では出張おはなし会や団体貸出などもやっていますので、なにか機会があれば、お手伝いできるかもしれないのでぜひお声がけください。

利用者 練馬の図書館は、わりあい近いところに図書館があるので助かります。講座も近いところだったら、ちょっと家族の心配があるとか、自分も不安とか、そういうことがあっても行きやすいですね。区でやるとなると、区役所とかまでわざわざ電車乗って行くのよりは、歩いて行かれるところで、勉強会とかあるっていうのはありがたいなと思います。

利用者 このぐらいの規模の他の図書館もこのぐらいイベントをやっていますか？ 多いんじゃないですか？

図書館 多いかもしれません。

利用者 小学校や中学校への学校支援は、どんなことをなさるんですか？

図書館 小学校には、町たんけんや図書館見学、あとは学校に出張しておはなし会も実施しています。お隣の南田中小学校さんとは、扉1枚でつながっているのですが、外に出ずに図書館に直接来ていただいて、毎年調べる学習コンクールのための授業を行っています。図書館見学は休館日を使って、普段は入れない保存書庫や返却ポストの裏側を見たりすることもあります。

利用者 調べる学習コンクールは毎年参加しているのですか。

図書館 毎年参加しています。練馬では6館が地域コンクールに参加していて、地域コンクールで勝ち上がった作品が全国コンクールに出品されるのですが、今年は練馬区で、646作品の応募があ

りまして、南田中図書館からは2作品が全国に出品されることになりました。

中学校への学校支援でいいますと、職場体験も毎年受け入れを行っています。

利用者 館の方たちは、こんなにたくさんの活動をやっている忙しくないですか？ 分担はどうやってやるんだろうって思います。

図書館 南田中図書館は30人弱で運営しています。通常のカウンターの業務や選書とって図書館に入れる本を選ぶ作業や廃棄する本を選ぶ作業もしつつ先ほど申し上げた通り、児童担当や、地域担当などに分かれて、なるべく担当するイベントが重ならないようにと、あとは人によって担当する回数に偏りが出ないように調整しながら分担しています。

利用者 イベントの成果も難しいですよね。来所者数を結果と捉えるとか、満足度になるのか、私たちがイベントをやっている、自分たちで考えた企画をどう継続して、どれを結果として捉えるかっていうのをいつも難しいなと思っています。

図書館 そうですね。参加者数が一番わかりやすい指標ではあると思いますが、図書館のイベントではアンケートを取っていて、満足度はもちろん、どんなイベントに参加してみたいかリクエストなどもうかがっています。なかなか評価が定まらなくて難しいものに関しては、内容を工夫するのか、他のイベントにシフトするのは検討しています。

利用者 まさに私たちと一緒にやっていた子育て交流会は、はじめは人数が少なかったんで、どうしようかと思っていたのですが、今年度は形を変えてみて、かなり参加人数が増えたので安心しました。内容は別に悪いわけでもないけど、周知の仕方とか定員と違って本当に難しいなと思いました。

利用者 町会の回覧板に、いろんなところのチラシが入っていて、それと一緒に南田中図書館のイベントが載っているのは、結構皆さん見ているのかなと思います。

図書館 回覧板は以前の利用者懇談会で、ご提案いただいてから始めました。イベントの受付の際になにでもイベントを知りましたか？という質問をしているのですが、回覧板を見ましたという人が結構いるので、すごく効果はあるのではないかなと思います。

利用者 図書館は、ねりはぐアプリは入ってないのですか？ ねりはぐアプリって言って、妊婦さんから入れるアプリがあるんですけど、とても成果を感じています。イベント情報を発信できて、アプリからそのまま申し込みができる便利なアプリです。

X (旧 Twitter) はちょっと見ている人は少ないかもしれないけど、多分児童イベントだったらアプリを使えば、図書館さんも参加人数は確実に増えると思います。増えすぎてしまうかもしれませんが。

図書館 区としてはLINE アプリがあるので、図書館もそこに告知などは出せますが、図書館としてのSNSはないですね。一応YouTubeで「ねりほんフラッシュ」という音声だけですが本を紹介するコーナーは持っています。

利用者 区のSNSは申請に時間がかかったりして、難しいですよね。Instagramはやらなくていいのかなと思います。やればもっと来るのになと思います。民設とかはどんどん取り入れてやっているのですね。ママさんたちもそうですけど若い人たちも結構見ますからね。

利用者 若い世代にもっと知ってほしいのであれば、やっぱりそこが入らないと。

せめて図書館でSNSを持ったら他の図書館を見るきっかけにもなると思う。ママたちは電動自転車

に乗ってる人も多いので、隣の図書館くらいなら行くんじゃないかしら。貫井図書館にたまたま行ったときにたまたま知った企画もあるし、ちょっと足延ばせば石神井図書館もすごくいい場所にあたりるので、SNSがあれば他の図書館の取り組みも知るきっかけになるのかなとは思っています。

図書館 掲載回数の制限はありますがイベント情報を区報に載せることもできます。

利用者 ママたちはあまり区報を見ないのではないかな。新聞を取る人も少なくなっているから。

図書館 イベントについて他にありますか。

利用者 十分に聞けました。ありがとうございます。

利用者 大人のおはなし会も先日リハーサルをここでやらせていただいて、本番はまたよろしくお願ひします。大人向けのおはなし会をやります。いつもは子どもにやっているんですが、大人も楽しめるようなものも選んでやります。南田中図書館の方も出演してくださいます。図書館の方もいつもチラシ作ってくださって、私たちはただそれを近所の人に配ったりとかしてね。でもおかげさまで、継続するということが大事なのかなって思います。参加人数も増えてきてね。図書館の方もいつも頑張ってくださいって、館長さんも詩を読んでもくださったりするときもありますけどですね。忙しいのにね、皆さんよく覚えてね、本当にびっくりします。語る方も大変だけど、聴く側もすごい集中力を使うし想像力もすごく刺激されると思います。学校にも行くんですけど、騒がしいクラスだったりすると先生が前もって教えてくださることもあるんですが、でも語りはすごくよく聞くんですよ。帰るときに、あんなに普段騒がしいクラスがどうしてこんなに聞いていたのかしらって先生の方が驚いてる。だからね、やっぱりおはなしを聞くっていうのがすごく違うのかなと思います。人の声が心地いいんですよ。それがすぐに結果に出るもんじゃないんですけど、でもね、やっぱりどっかに残ってて楽しかったっていう思いが残ればもういいかなってぐらいのつもりでやっています。学校もね、だんだん高学年になって忙しくなってきた、高学年の子に聞いてもらいたい話っていうのも結構あるんですけど、なかなかそういう時間が取れなくなっちゃって。でも大体四年生ぐらいまでの子にはいろんな学校で聞いてもらってます。

その子たちが図書館にも来てくれればいいんですけど、なかなか。でもこの土曜日のおはなし会はお父さんが必ず来るんですよ。他の館で活動している仲間に聞くと、お父さんが来るころはなかなか少ないみたいです。おはなしを聞いて、家に帰って子どもと一緒にまた本を読み聞かせとかして、そういうふうになってくれればいいなと思っているんですけど。

利用者 パパのおはなし会をやったときも結構お父さん来てました。お父さんは難しいかなと思ひながらも、いっぱい来てくれたんで本当に良かったです。

図書館 あっという間に時間になってしまいました。本日はお忙しい中、懇談会にご参加くださり、貴重なご意見いただきまして誠にありがとうございます。いただきましたご意見ご要望については、今後の図書館運営に生かしていきたいと思ひます。引き続きご支援いただけますよう、何卒よろしくお願ひいたします。懇談会以外でも、何かお気づきの点やご要望などがありましたら、いつでもお気軽に声かけていただければと思ひますので、よろしくお願ひします。本日はありがとうございました。